

...ボランティアがつくるニュースレター...

発行…トラスト通信ボランティア  
問合せ…(一財)世田谷トラストまちづくり  
〒156-0043 世田谷区松原 6-3-5  
Tel: 03-6379-1620 Fax: 03-6379-4233  
<http://www.setagayatm.or.jp/>

# トラストネットワーク



No. 82 2018年12月

**世田谷の街中アート** 欧州の主要都市を訪れた際に、街中で多くの石像、壁画や素晴らしい建築などに目を惹かれ、思わず立ち止まって、見入ったことがありました。世田谷でもそのような体験を期待できそうな場面を本号で紹介し、街中のアートを楽しんでいただき、美しい風景のあるまちの実現を目指す世田谷のトラスト運動への理解を深めるきっかけにさせていただきたいと思えます。

## 1 大山道の旅人像 弦巻4丁目32

江戸時代中期、関東一円の農村には雨乞いのために、雨降山とよばれる丹沢の大山に参詣する習慣がありました。これを大山詣といいます。赤坂見附から、青山、世田谷、二子、溝ノ口、長津田、伊勢原を経て大山に至るこの道は大山道とよばれていました。世田谷内の大山道は三軒茶屋、世田谷通り、



ボロ市通り、そして弦巻を経て、用賀、二子玉川へと通じていました。

しかし大山詣はしだいに、信仰は口実となり、帰り道には東海道に出て、江ノ島や鎌倉で遊ぶ物見遊山の旅に変わっていきました。この像はそのような大山詣をする商家の主人をモデルに、たぶん一服しただろうと思われるこの場所に設置したものです。

昭和60年3月 世田谷区\*

## 2 サザエさん一家 桜新町1丁目14

東急田園都市線桜新町駅前

サザエさん一家の像です。作者長谷川町子さんの旧居は長谷川町子美術館として近所に建てられています。



左から  
イソノ

ナミヘイ  
カツオ  
ワカメ  
フネ

82号の目次	
世田谷の街中アート	1
秋のお茶席・生花展示	6
小さな森 用賀・和みの庭	7
かわらばん	8

左から  
サザエさん  
タラちゃん  
マスオさん



\*旅人像の右側にある銘版の記載内容を参照

### 3 ゴジラ 成城1丁目4-1



東宝スタジオ No. 5ステージの西壁面のゴジラの大きさは、高さ約11メートル、幅約11メートル。

モデルとなったゴジラの造形は「ゴジラvsスペースゴジラ(1994年)」で、2014年に新たな東宝スタジオの顔として完成しました。

制作者は画家・壁画家の埴雅夫(はなわ まさお)氏で、2007年にも、東宝スタジオ入口に「七人の侍」の壁画を制作しています。

### 4 ウルトラマン(小田急線祖師ヶ谷大蔵駅前)



駅の北側の交番の前にはウルトラマンの像があります。2005年4月祖師ヶ谷大蔵駅前広場の完成を機に、駅を囲む3商店街が一緒になり、円谷プロダクション本社が砦7丁目に、また円谷英二氏の自宅が祖師谷3丁目にあったことから、ウルトラマン商店街を誕生させました。

他にも、ゲート3カ所「西通り保健センターの前：ゾフィー」「北通り塚戸十字路：ウルトラマン」「南の耕雲寺の近く：ウルトラマンジャック(帰ってきたウルトラマン)」や、街の色々な場所にウルトラヒーローがいます。



## 5 ゴリラビル 太子堂3丁目16



さらに2005年「キング・コング」、2017年「キングコング：髑髏島の巨神」などが公開されています。

映画以外の分野でも、映画の小説化、漫画、アニメなどで多数の作品が公開されています。

周辺の方に何うと、30年ほど前に建てられ、ゴリラビルと呼ばれているそうです。30年前、1980年代にこのビルが建てられたと推定すると、リメイク版や東宝の作品が大きな影響を与えたのではないのでしょうか。

解体してゴリラを外すには多大の費用がかかるとか、逆にランドマークの役割が大きく、便利に活用されているようです。

三軒茶屋から茶沢通りを北へ進み、バス停の太子堂の近くに来ると、ビルの上に異様な光景が見えてきます。

交差点の角にある4階建てのテナントビルの屋上に大きなゴリラの上半身、下に伸びた右手の掌にはランドセルを背負った女兒が……。キングコングだ、映画の怪物をとつさに思い出しました。



1933年に発表され、さらに1975年にリメイクされ世界中を驚かせた映画の主人公です。

何故キングコングなのか、やはり映画の影響が大きいと思われます。前述のように1975年にリメイクされた作品の他に、東宝がライセンスを得て制作した「キングコング対ゴジラ(1962年公開)」などがあります。



ゴリラビルの出入り口

## 6 猫と豪徳寺と東急世田谷線

### 豪徳寺 2丁目24

豪徳寺は彦根藩主・井伊直孝が猫により門内に招き入れられ、雷雨を避け、和尚の法談を聞くことができたことを大いに喜び、後に井伊家御菩提所としたと云われ、招き猫発祥の地とする説があります。

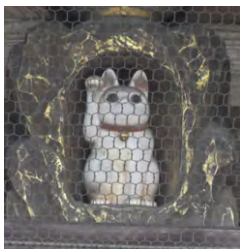
豪徳寺には招猫観音を祀る「招猫殿」があり、その横には、願が成就したお礼として、数多くの招福猫児（まねきねこ）が奉納されています。ちなみに、招福猫児は右手を上げており、小判などを持たない素朴な白い招き猫です。



平成18年に境内に三重塔が建立されましたが、北面（招猫殿側）に3体、東面に1体の猫が彫られています。

### 三重塔の猫たち

塔北面の猫たちの彫像、右最下部は東面の猫の彫刻。



北面



東面



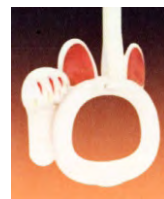
## 東急世田谷線

世田谷線の前身で、「玉電」の名で親しまれた玉川線が1907年の渋谷～玉川駅間の開通から110周年を迎えたことを記念し、2017～18年にかけて記念イベントを実施しました。

玉川線は、1907年3月に道元坂上～三軒茶屋駅間を結ぶ単線として敷設され、同年4月に三軒茶屋～玉川駅間、8月に渋谷～道元坂上駅間が開通しました。1925年には、玉川線の支線として三軒茶屋～下高井戸駅間が開通しましたが、1969年に玉川線が廃止され、三軒茶屋～下高井戸駅間は世田谷線と改称され、現在に至っています。

世田谷線沿線名所の一つ、招き猫発祥の地といわれる、豪徳寺の招き猫をデザインした車体ラッピングと吊り革に招き猫型吊り手、床面には猫の足跡を描いた300系車両1編成(2両)を「玉電110周年記念 幸福招き猫電車」として運行しました。

運行期間は、当初 2017年9月から半年の予定でしたが、好評のため、さらに半年延期して2018年10月5日までとなりました。（東急電鉄ニュースリリース参照）



←招き猫型吊り手(イメージ)

幸福招き猫電車



## 7 二つの壁画

### (1) 千歳台小学校の壁画と遺跡

千歳台4丁目24

小学校建築の調査で、この地点に先土器時代の遺跡が発見され、多くの遺物が発掘されたようです。出土品の一部が校内に展示されています。

学校の建築現場近くに住んでおられた谷内画伯は小学校の新築を喜び正門横の校舎の壁面に「芽生え」という題のモザイク壁画を寄贈されました。

この壁画には千歳台遺跡をモチーフにして、古代人の家族が穏やかに暮らしている姿が描かれています。

壁画の横にある石碑には作家自身の作による詩(下記)が刻まれています。



#### 芽ばえ

ほたるやとんぼが とんでいた世田谷  
ぼくのふるさと世田谷  
遠い遠い縄文文化の生まれる頃に  
こののどかな世田谷にぼくらの先祖は  
夢見たのです 将来のこどもたち  
幸せ多きことを 感謝

壁画制作画家 一九七九年 谷内六郎

### (2) 八幡中学校の壁画と奥沢城

等々力6丁目4

校舎南面に大きな壁画があります。民話として伝わる「白鷺と常磐姫」物語を表した画です。1982年、田中正秋画伯作。

16世紀後半の戦国時代、現在の浄真寺には奥沢城があり、城主大平出羽守の愛娘、常磐姫が住んでいました。

成長した常磐姫は世田谷城主吉良頼康に側室として迎えられ、特別の寵愛を受け、頼康の子を身ごもりました。

それを妬んだ他の側室たちはあらぬ噂をたて、常磐姫を頼康から遠ざけようとして姫を苦しめました。

悲しみに暮れた常磐姫は、身の潔白を示そうと、遺書をしたため可愛がっていた白鷺の足に結びつけ、父の住む奥沢城に向け放ち、自刃して果てました。その白鷺を頼康は狩りの際に射落としてしまい、足の文を見つけ常磐姫の無実を知ったのでした。白鷺の射落とされた地には、白鷺が羽ばたく姿の可憐な花が咲くようになりました。



## 成城五丁目猪股庭園 秋のお茶席・生け花展示

10月最後の土日、おだやかな気候の下、成城五丁目猪股庭園でお茶席・生け花展が催されました。

お茶席は一般500円会員400円。建物と庭の鑑賞は無料。お茶席を待っている間に建物の各部屋とそこに飾られている生け花を鑑賞、苔の美しい庭園を巡ることが出来ました。紅葉はまだでしたが、苔の庭にはシイの実が落ちていたり水路があったり。瓦を使ってデザインされた飛石を辿っていくと、建物やお茶室を外からも鑑賞することができました。

お茶席が設けられた主屋は、建築家・吉田五十八設計の数寄屋造りの住宅で、生け花は各部屋に飾られていました。これらの花々はボラン



ティアの生塚さんたちが生けられたとのこと。リュウノウギク、リンドウ、サンキライ、ツルウメモドキなどの野



趣に富む投げ込みで、どのようにお花を用意されたのか伺ってみると、花屋さんで買い求めたものではなく、東京近郊の山から摘んで来られたとのこと。「花は出合いで生け

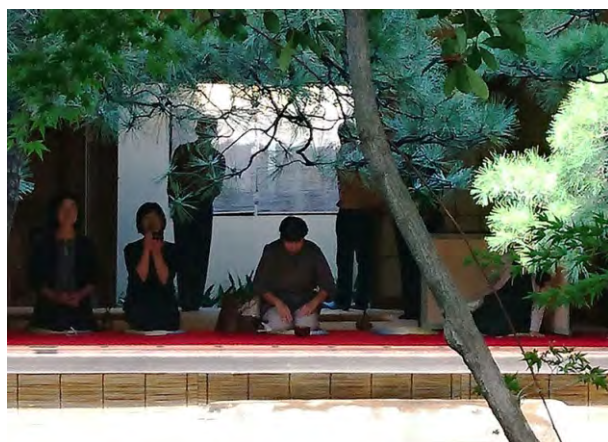
ていて、テーマが先にあって花を集めたのではない」というお話が印象的で

した。長年、猪股庭園の解説ボランティアをされていた生塚さん。「お茶席にお花が無いのはどうかと思って」と、花器も自分達で用意されているそうで、お花はお茶会の時以外も、暑い時期などを除き、時々生ける事があるとのことでした。



今年の秋のお茶会は2日間で347名のお客様が訪れ、お茶・お菓子とともに、建物・庭・生け花を楽しみました。椅子席もあり、正座が苦手な方でもお茶を楽しむことができました。

また猪股庭園から成城みつ池・旧山田邸へ行ったところ、同様の方も見かけました。こちらではコーヒーやクッキー（有料）がいただけるので、和洋のお茶両方を楽しまれた方もいたのではないかと思います。



## 小さな森 用賀・<sup>なご</sup>和みの庭

### オープンガーデンのスタート

11月1日(木)。「小さな森 用賀・和みの庭」の第1回オープンガーデンが開催されました。定刻の前から近隣の方々が数人集まりはじめ、定刻に(一財)世田谷トラストまちづくりの担当者の挨拶の後、開場となりました。

「小さな森 用賀・和みの庭」には、和風の庭園と洋風のガーデンがあります。入口を入り、住宅の手前を左手に進むと門があり、門をくぐると奥が和風庭園です。



まず、広い庭に設置された巨石と春日燈籠・雪見燈籠に息を呑み、みどりの芝生と白い砂利のコントラストに目を奪われました。そして、その奥には梅、八重桜、モッコク、ラカンマキ、松など30本近くの樹木が並んでいます。また、庭の一角のテラスには、テーブルと椅子が並べられていました。門の横には、さざれ石もありました。



また、入口に戻り、住宅の手前を一旦、右手に進み、すぐ左に折れて進むと洋風ガーデンです。こちらは、樹木等はガーデンの隅の方に植樹されており、中心部には樹木が少ないので明るいガーデンという感じです。

植樹されている樹木は、ソテツ、梅、クロボウサ、シャクナゲ、ワビスケ、バラなど20種類ほどでした。

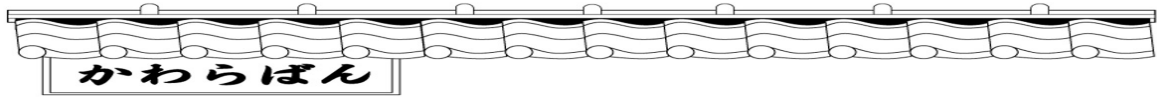
その他、珍しい草花やサボテン、秋の草花も沢山あり、それらは、地面やテラコッタ製のツボ等に、どれも、植物がゆったり育つように間を開けて植えられていました。また、植物の間には、豚の親子、リスなどの動物や老人や少年などの置き物がさりげなく飾られていました。

ガーデンの真中辺りにテラスがあり、テーブルと椅子が並べられ、またその奥にもベンチがあり沢山の人がくつろげる様な配慮がなされていました。



午後1時45分からテラスで「プレートの贈呈式」が行われました。

(一財)世田谷トラストまちづくりの担当者の司会のもと、田中課長の挨拶、小さな森の「プレート贈呈」、オーナーの挨拶がありました。「古くから出入りしている「造園会社の社長さん」の力を借りて、樹木や石等を探しながら、コツコツと庭を作り上げてきました。」とのことでした。



## 彼岸花(ヒガンバナ)は お彼岸に咲くか

ヒガンバナはいろいろな名前と呼ばれています。その葉や花、茎にはリコリンという毒が含まれているため、地方によっては「死に花」「手腐れ花」などと呼ばれています。ほかに「曼殊沙華(マンジュシャゲ)」「秋花」「かんざし花」「仏(ほとけ)花」といった呼び名もあります。

ヒガンバナは、秋のお彼岸(9月20日～26日)に咲くのでしょうか。筆者\*はヒガンバナの群落で、開花した花の本数を調べました。1本が咲けば「初認」、5本が咲くと「開花開始」、群落全体の80%が咲くと「満開」にすることにしました。そして、残り5本で「開花終了」、残り1本で「終認」にしました。



2005年から2017年までの間で11年の記録(2年分は不備)をまとめると、平均した開花日は9月23日で、年によって多少のずれはあるが、花はお彼岸に咲いていたことがはっきりしたそうです。

身近な自然でもよく観察すると、面白いことが分かるものですね。

\*「目からウロコの自然観察」(唐沢孝一著、中央公論社刊)の著者を示します。前号と同様に参照しました。

## ボランティアスタッフ募集

トラストネットワーク紙と一緒に  
作りましょう

企画 取材 記事作成 編集 印刷 折込  
上記を分担共同作業で実施

場所：梅ヶ丘事務所(梅ヶ丘駅前)  
随時活動フィールドでの取材など実施

活動日時：水曜日(10時～12時)

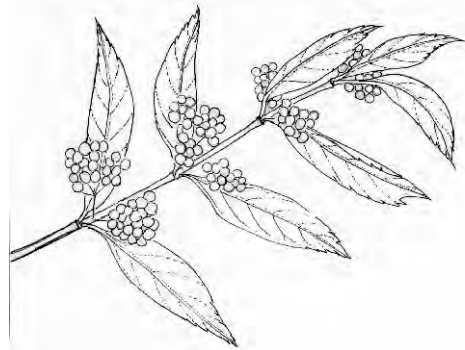
連絡先：(一財)世田谷トラストまちづくり  
電話 03-6379-1620



鷺草の花  
浄真寺境内に飾られた作品

## コムラサキシキブ シソ(クマツヅラ)科

花の時期に気付かなくても  
紫色の実が多数成ると一際  
目立ち存在感があります。



彩草会

**編集後記** 本紙1～5頁、街中アートとは何を指すのかははっきりしないまま対象となりそうな創作物を探り上げて記事にしました。これからも目を凝らして街を歩き、それなりの作品を見つけていこうと想います。また読者の皆様の知恵も拝借いたしたく、投稿などのご協力をお願いします。

## 82号作成に関わったメンバー

大泉定雄 片寄正史 北嶋明子  
須永澄子 野武一郎 宮下正雄